

第2章 目指すべき将来の都市空間

第1章



都市空間
デザインガイドラインとは



第3章



都市空間形成方針

第4章



空間タイプ別
デザイン誘導指針

第5章



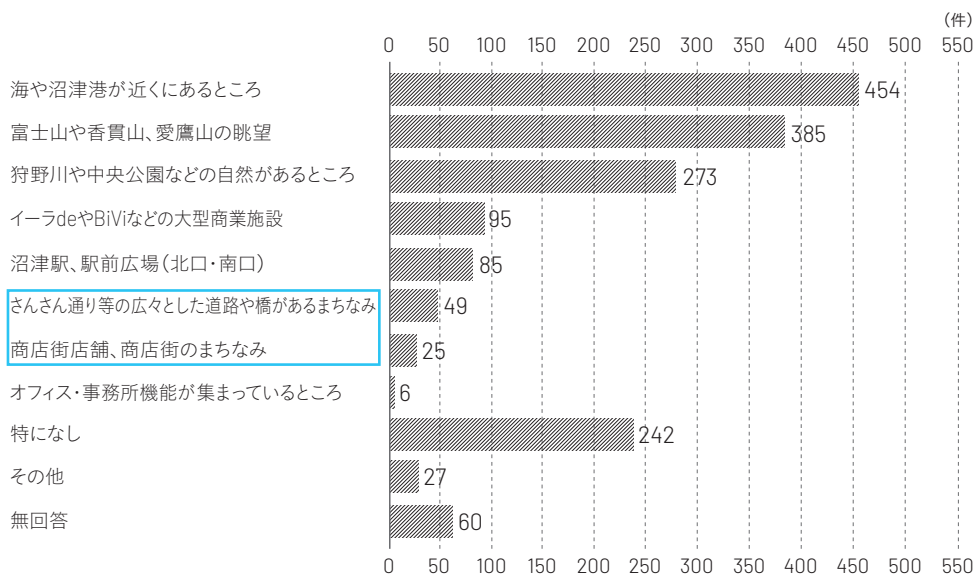
実現に向けて

① 都市空間に対する現状認識

市民意識調査等の結果から、都市空間に対する市民の現状認識を把握します。

① 道路・商店街などのまちなみの魅力の不足

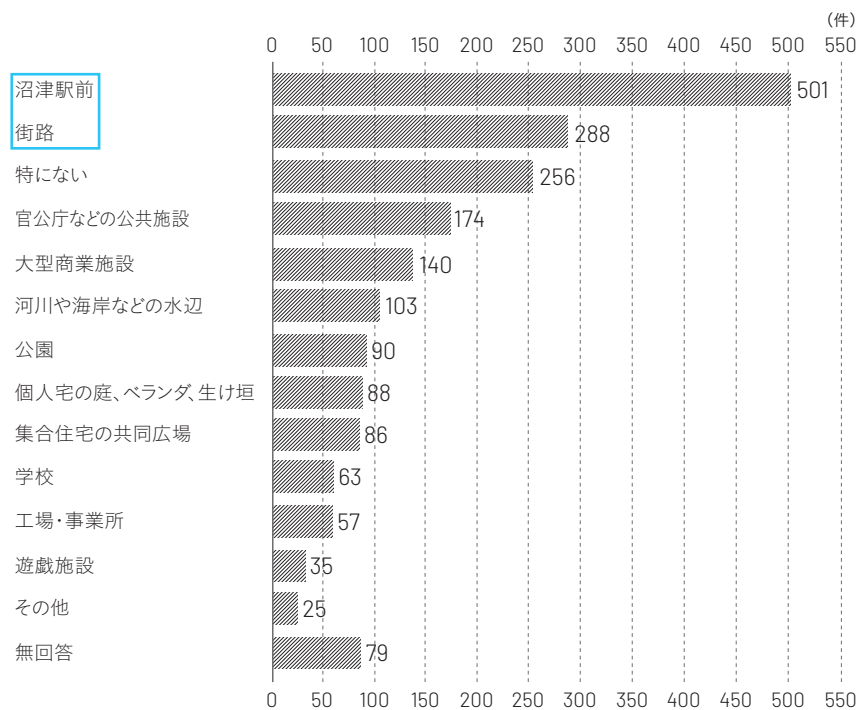
■令和元年度 市民意識調査「中心市街地の魅力的であると感じる場所」



自然に近接する環境に魅力を感じている一方で、道路や商店街といったまちなみには魅力を感じていない状況です。まちなかの居住者や来訪者の回遊・滞在を促すために、魅力あるまちなみづくりが求められます。

② 沼津駅前や街路における緑の不足

■平成30年度 市民意識調査「緑が少ないと感じる場所」

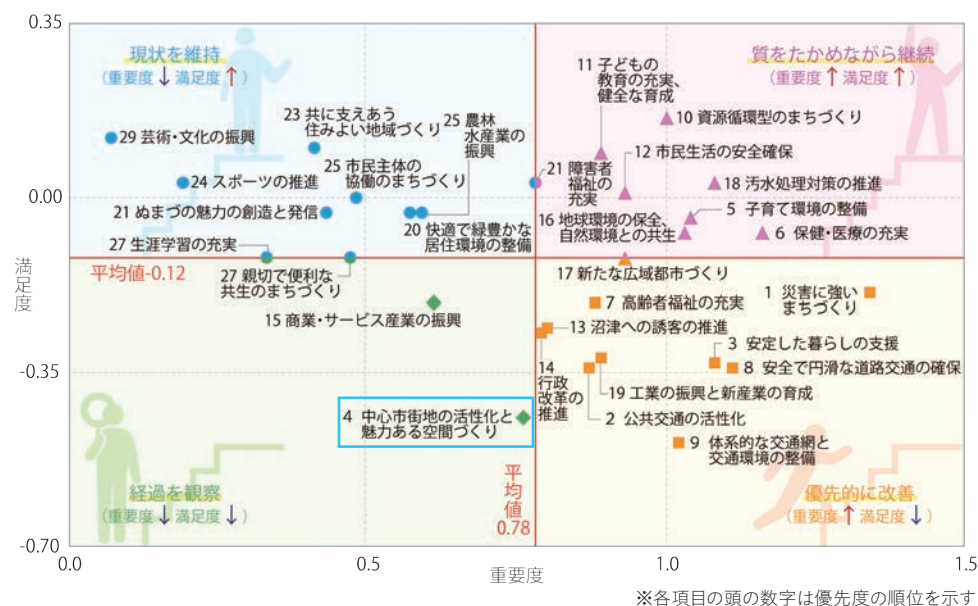


沼津駅前や街路に緑が不足していると感じている状況です。良好な景観や快適な都市空間を創出するために、身近な緑に対する取組が求められます。

③ 中心市街地の活性化と魅力ある空間づくりの推進

■令和元年度 市民アンケート(第5次沼津市総合計画)

「主な取組の重要性・満足度・優先度」



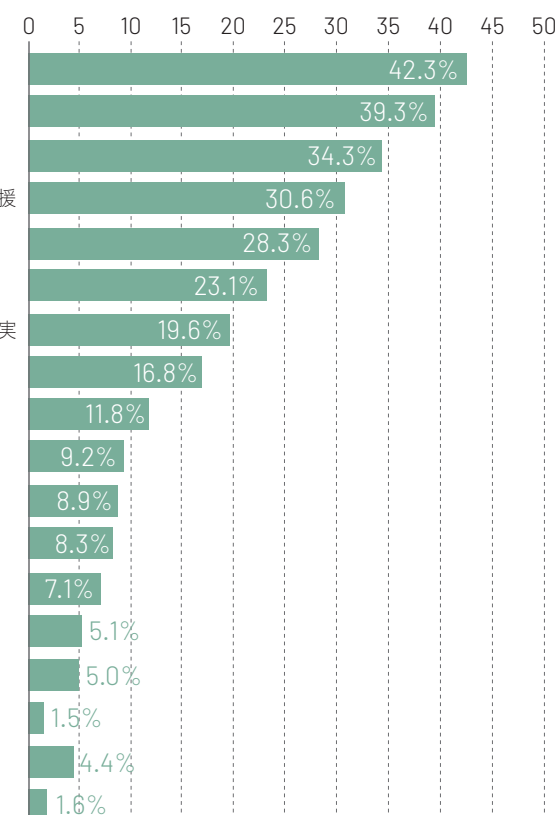
「中心市街地の活性化と魅力ある空間づくり」に対する満足度が低く、今後取り組むべき事項として、最も多くの回答が寄せられています。

本ガイドガイドラインに基づく取組を通じて、公民連携で魅力ある空間づくりを推進し、中心市街地の活性化につなげていきます。

「今後取り組むべき事項」

中心市街地の活性化

- 医療・福祉サービスの充実
- 地震や津波、豪雨災害などへの安全対策
- 企業誘致など働く場所の確保や起業創業の支援
- 定住人口確保への対策
- 道路環境の整備や公共交通の充実
- 保育などの子育て支援や学校の教育環境の充実
- 農林水産業・商工業など地域産業の活性化
- 妊娠、出産への支援など少子化対策
- 地域資源の活用による交流人口の拡大
- 公園やコミュニティ施設の充実
- スポーツや生涯学習のできる環境づくり
- 健康づくりの推進及び環境の充実
- 文化芸術の振興・伝統文化の保存活用
- 自然環境の保全
- ICTやビッグデータなど最先端技術の活用
- その他
- 無回答・無効回答



② ヒト中心の都市空間の実現に必要な3つの要素

現在の都市空間に対する市民の現状認識を踏まえ、魅力ある空間づくりを進めるための課題を整理し、ヒト中心の都市空間の実現に必要な3つの要素を示します。

1. 個の空間としての課題

- ・民間活動が建物内部で完結することで、にぎわいが効果的に地先空間に滲み出ていません。
- ・十分な地先空間があってもその空間の有効活用が図られておらず、人が滞在したくなる環境となっていない。
- ・人のゆとりある活動機会を創出する、まちに開かれたまとまりのある空間が不足しています。

Activity

民地からのにぎわいが公共空間に滲み出る空間活用や、立ち止まり、その場所にとどみたくなるような空間創出等によって、多くの人を惹きつけ、活動・交流の場ともなる空間を形成する必要があります。



岡山市

佐賀市

3. 民間敷地・公共空間一体としての課題

- ・民間事業者等による積極的な公共空間活用は行われておらず、民間活動の場は民地に限られています。
- ・暫定的な土地利用を目的とした平面駐車場等の低未利用地が散在するなど、民地のポテンシャルを活かしきれていません。
- ・セットバック空間を有効活用できておらず、民間敷地と公共空間の一体感が不足しています。

個人(個店等)の
取組の充実・活性化



公民連携による取組の拡大、
空間活用の仕組みづくり

Activity、Street、Managementの3つの要素を循環しながらまちづくりを進めることで、ヒト中心の都市空間の実現を目指していきます。

Management

公共空間の積極的な利活用やセットバック空間の有効活用などにより、民間敷地と公共空間の垣根を超えた活動・整備が行われ、一体感のあるまちなかとする必要があります。

2. 通りとしての課題

- ・歩行者の通行が多い街路においても段差等があり、有事の際も含め誰もが安心して快適に歩くことができる環境にはなっていません。
- ・街路樹や民地側の緑化など、身近に感じられる緑が乏しい状況です。
- ・通りの特性を活かした、統一感・連続性のある風景を生み出せていません。

Street

安全でわかりやすい歩行空間や道路・地先での適切な緑量の確保、統一感のあるファサードの実現など、誰もが使いやすく、居心地良く感じられる、デザインの統一が図られた通りとする必要があります。



松山市

横浜市

中心市街地にふさわしい質の高いまちなみ



千代田区

広島市

公民連携により段階的に成長する仕組み